

2021年度（第63期）

事業計画書
収支予算書

自 2021年4月1日

至 2022年3月31日

公益財団法人 東京生化学研究会

2021年度（第63期）事業計画 （2021年4月1日～2022年3月31日）

公益目的事業1（研究助成）

1. 研究助成（定款第5条第1項1号）

〔概要〕

薬物治療並びに新医薬品の創製に関する基礎的・応用的研究に関し独創的内容を有する研究を行い、注目すべき業績をあげつつある研究者並びに意欲的に取り組もうとする若い研究者に対し、研究助成金・研究奨励金を贈呈する。

贈呈者は、選考委員会Aにおいて候補者を選考し、理事会で決定する。

① 研究助成金

〔募集方法〕 財団が定める特定の研究テーマ（2ないし3件）に対して公募を行う。

〔公募期間〕 8月～9月

〔助成金額〕 5, 200万円

〔助成件数〕 2021年度（1年目）11件

2020年度（2年目）15件

1件 400万円を初年度200万円、第2年度 200万円に分けて贈呈する。

② 研究奨励金-I

〔募集方法〕 財団が定める特定の研究テーマ（2ないし3件）に対して公募を行う。
40歳未満の若い研究者を対象とする。

〔公募期間〕 8月～9月

〔助成金額〕 3, 300万円

〔助成件数〕 22件（1件 150万円）

③ 研究奨励金-II

〔募集方法〕 独立して新しい研究室を立ち上げた若い研究者（原則として45歳未満）を対象に公募を行う。財団の目的に沿った研究テーマであれば、特にテーマに制限を設けない。

〔公募期間〕 8月～9月

〔助成金額〕 1, 500万円

〔助成件数〕 10件（1件150万円）

④ 特別研究助成金（特定費用準備資金）

〔募集方法〕 特定費用準備資金の積立てより、特別研究助成を行う。

テーマ「ウイルス感染症・がん」に関する研究を対象に公募を行う。

〔公募期間〕 8月～9月

〔助成金額〕 1, 500万円

〔助成件数〕 5件

1件 600万円を初年度300万円、第2年度 300万円に分けて贈呈する。

*研究助成（研究助成金、研究奨励金I・II、特定研究助成）：総額 11, 500万円

2. アジア地域研究者招聘による国際共同研究助成（定款第5条第1項2号）

〔概要〕

わが国とアジア地域の研究者による薬物治療並びに新医薬品の創製に関する共同研究を助成する目的で、アジア地域より若い研究者をわが国の大学・研究機関に招聘し、1～2年間滞在費その他を支給するとともに、受入研究者に研究助成金を贈呈する。

贈呈者は、選考委員会Bにおいて候補者を選考し、理事会で決定する。

〔募集方法〕 公募とし、申請はわが国の受入研究者から行うものとする。
原則として40歳未満のポストドクを対象とする。

〔公募期間〕 8月～9月

〔助成金額〕 5,500万円

〔助成件数〕 10件（継続4件、新規6件）、1件550万円（概算）

（助成金の内訳）

招聘研究者：滞在費月額32万円（住宅手当含む）、家族手当5万円、

海外旅行保険料年額約15万円、往復航空券（実費）、渡日一時金20万円など

受入研究者：共同研究助成金年額150万円

3. 奨学補助金助成（定款第5条第1項3号）

〔概要〕

わが国の大学等研究機関において、薬物治療並びに新医薬品の創製に関する研究に精力的に従事する大学院生もしくは大学院研究生を対象として、奨学補助金を給付する。

給付期間は、2年間を限度とし、返還の義務はない。

贈呈者は、選考委員会Cにおいて候補者を選考し、理事会で決定する。

〔募集方法〕 公募

〔公募期間〕 1月

〔助成金額〕 2,100万円

〔助成件数〕 25件、1件月額7万円（年額84万円）

4. 国際会議派遣及び招聘補助金助成（定款第5条第1項4号）

〔概要〕

海外で開催される、薬物治療並びに新医薬品の創製に関する国際会議への研究者の派遣、並びにわが国で開催される同様の国際会議への海外研究者の招聘に関し、旅費及び滞在費などの経費を補助する。

贈呈者は、選考委員会Cにおいて候補者を選考し、理事会で決定する。

〔募集方法〕 申請は、年度の前半期（4～9月）と後半期（10～3月）の2回に分け、派遣の場合は当事者本人が、また招聘の場合は会議の会長（学会長もしくは実行委員長）が行う。

招待講演並びに特別講演を行う研究者を対象（一般の口頭発表或いはポスター発表などは対象外）

〔公募期間〕 前半期：1月 後半期：7月

〔助成金額〕 200万円

〔助成件数〕 4件（1件50万円以内）

5. 研究成果の刊行（定款第5条第1項9号）

助成金贈呈者から助成期間終了後に研究成果報告を提出いただき、「助成研究報告集」（非売品）として8月以降に刊行する。（400部作成予定）

[予 算] 320万円

6. その他関連する事業（定款第5条第3項）

① 「助成研究報告会」の開催（2022年3月初旬）

2019年～2020年度国際共同研究助成金贈呈者及び2018年度研究助成金贈呈者による研究成果の発表（口頭）並びに2019年度研究奨励金贈呈者によるポスター発表を行うとともに、研究者と財団 関係者間の交流・親睦を図る。

[予 算] 150万円

② 「60周年記念行事」の実施（2022年3月予定）

「創立60周年記念誌」を刊行及び特別講演会を開催し、研究者と財団 関係者間の交流・親睦を図る。

[予 算] 700万円

公益目的事業2（がん研究学術振興）

1. IAA02021（国際フォーラム2021）の開催（定款第5条第1項5号）

[概要]

日本のがん研究、がん治療の向上を目的に、がん研究領域における世界トップレベルの研究者・オピニオンリーダー10数名を日本に招聘し、ボードメンバー及び理事に選出された日本のトップレベルのがん研究・治療を担う基礎研究者及びがん専門医約220名並びに公募により選出された若手研究者10～20名と情報交流・討議を行うがん国際会議を開催する。（総参加人数230～240名）。

開催後に記録集の編集を行い、1年半から2年後に発刊する（未発表データ含むため）

なお、基本的にはOn-Siteでの開催を目指し準備を進めているが、COVID-19の世界的な感染状況により、On-SiteとOn-Lineによるハイブリッド形式の開催の準備も進めている。

① IAA02021の開催概要

[期間] 2021年6月19日～20日

[会場] 六本木アカデミーヒルズ49

[募集方法] 国内招待者220名については、アドバイザーボードメンバーの意見・提言に従い理事会での承認に則り決定する。若手の研究者・医師に関しては財団ホームページにて募集を行い（3月）、選考委員会Dにて10名～20名の範囲で決定する。

[予算] 2,500万円（ハイブリッド形式での開催として計上）

② IAA02022の開催準備

9月～3月にIAA02022（国際がんシンポジウム2022）講演候補者に日程の確認及び講演内容の打ち合わせ並びに米国および欧州のアドバイザーボードメンバーとプログラムの打ち合わせの会議を行う。海外の講演候補者業績を調査する目的でがん関連国際学会に参加する。

[予算] 400万円（会議費、学会参加費等）

③ IAA02018記録集の刊行

IAA02018の講演内容の編集を行い、「IAA02018記録集（Proceedings of IAA02018）」（非売品）として6月に発刊する。記録集はフォーラム全参加者に送付するほか、がん関連学会やセミナーにて展示を行い、無償配布するほかホームページにて希望者に無償で郵送する。

[予算] 300万円（600部刊行）

2. フォーカスシンポジウムの開催（定款第5条第1項5号）

[概要]

地方大学、大学病院、がん診療拠点病院、研究所などにおける、がんの基礎・臨床研究の質的・量的向上、さらには地方での標準治療普及の促進を目的に、世界のがん研究・治療の最新トピックスにスポットを当てた講演会の開催並びに講師派遣等の支援を行う。

[募集方法] 年2回（4月～5月、10月～11月）ホームページにて募集を行い、年4回を超える応募があった場合は、選考委員会Dにて決定する。

[予算] 100万円

3. 海外研究者招聘補助（定款第5条第1項5号）

〔概要〕

日本がアジア諸国におけるがん研究・がん治療の拠点地域となることを目的に、日本癌学会並びに日本臨床腫瘍学会各学術集会において、アジア諸国で将来を期待される若手研究者が学術集会に参加し研究成果を発表することを促進する目的で行っている、渡航費、滞在費助成の一部をトラベルグラント、トラベルアワードとして協賛する。

〔予算〕 375万円（日本癌学会225万円、日本臨床腫瘍学会150万円）

4. 教育コース派遣（定款第5条第1項6号）

〔概要〕

日本の若手基礎研究者・臨床研究者の育成並びに海外研究者との人的・研究ネットワーク形成を目的に、米国のSociety for Translational Oncology (STO) 主催する若手がん臨床研究者養成研修会 (STOFF) に3名を選考委員会Dにおいて候補者を選考し、理事会で決定し、派遣する。

〔選考方法〕 IAAO アドバイザリーボードメンバー及び理事、評議員が推薦し、選考委員会Dにて選考を行い、理事会にて承認された3名を派遣する。

〔予算〕 550万円（受講料、渡航費）

5. JCA-CHAAO 賞の表彰（定款第5条第1項7号）

〔概要〕

日本癌学会学術賞の一つとして日本癌学会と共同で創設した賞で、「日本初の新たな抗がん剤・治療法に関する研究・開発を行い、がん医療の発展に多大に貢献する成果物を創出した個人又はグループの功績を称え、今後のがん研究の一層の振興を図る」ことを目的に、日本癌学会が公募を行い、1名または1グループを表彰する。表彰後に受賞記念講演会を開催する。

〔募集方法〕 日本癌学会がホームページで募集を行う。（要項は日本癌学会ホームページ参照）

〔予算〕 330万円（副賞100万円、トロフィー等80万円、記念講演会150万円）

創設10周年記念（第11回 JCA-CHAAO 賞と合同開催）

〔記念誌発行〕 250万円（300部）

〔記念式典〕 100万円（招待者旅費）

6. 教材資料作成（定款第5条第1項9号）

〔概要〕

がん研究、がん治療の資料や教育資材として活用するための各種冊子・印刷物を作成・出版する。出版された各資料は、各がん関連学会又はセミナー等の機会に直接無償配布を行うほか、ホームページからも広く受付配布する。

抗腫瘍薬一覧表

厚生労働省の承認を受けた抗腫瘍薬の商品名、一般名、適応症、副作用を専門医が監修のもと簡潔にまとめた「抗腫瘍薬一覧表2021年度版」を6月に発刊。同時に携帯に優れた「抗腫瘍薬一覧表2021年ポケット版」も発刊し、希望者に無償提供する。

〔予算〕 390万円（2021年度抗腫瘍薬一覧表 120万円、ポケット版 270万円）

公益目的事業3（患者会活動支援）

1. FFJCP2022（日本がん患者会会議2022）の開催（定款第5条第1項8号）

〔概要〕

日本のがん患者会の代表者が活動経験の交流を行い、患者の視点を日本のがん医療に反映させる目的で、最新の医療情報の収集ならびに意見交換を行う会議を開催する。

開催後に記録集を作成し、全国のがん患者団体に広く無償配布を行う。

① FFJCP2022の開催

〔期間〕 2022年1月29日～30日

〔会場〕 未定

〔募集方法〕 ホームページにて全国がん患者団体を対象にホームページにて参加募集を行う。

会場要員人数により、参加は60団体、全参加人数は120名以内とする。

プログラム企画はプログラム企画委員10名（患者団体より8名、財団より2名）

〔予算〕 900万円（会場費、講師旅費、講師謝礼、役割者旅費他）

② FFJCP2022 グループミーティング

〔概要〕 FFJCP2022開催に向けて、公募により選出されたメンバーによりFFJCP2022のテーマについて調査・研究を行うワーキンググループを立ち上げ、ミーティングを年に2～3回程度開催し検討する。研究結果をFFJCP2021にて報告する。

〔期間〕 2021年4月～12月

〔会場〕 財団中会議室

〔募集方法〕 ホームページに募集を行う。

〔予算〕 50万円（出席者旅費、茶菓弁当代、資料作成費用など）

③ FFJCP2021・2022 記録集発刊

FFJCP2021・2022の開催内容を記録集として、参加者が校正を行い、プログラム委員が監修し、FFJCP2021記録集を2021年6月、FFJCP2022記録集を2022年3月に発刊する。参加者に無料配布するほか、ホームページより請求のあった方に無償配布を行う。

〔予算〕 250万円（各2,000部刊行）

2. エリアセミナー開催（定款第5条第1項8号）

〔概要〕

地方での患者会の学習ならびに経験交流を支援する目的で、FFJCPのフィードバックや小規模な勉強会・会議を主催または共催にて行う。

〔募集方法〕 ホームページにて募集を行い、応募が4回以上の場合は、プログラム企画委員の選考により決定する。

〔予算〕 50万円

2021年度 収支予算書内訳表(正味財産増減予算書内訳表)

自 2021年4月1日 至 2022年3月31日

(単位:円)

科 目	公1 (研究助成)	公2 (がん研究学術振興)	公3 (患者会活動支援)	共通	公益目的事業会計	法人会計	合 計	備 考
I. 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
① 基本財産運用益		0	0	3,000,000	3,000,000	0	3,000,000	
② 特定資産運用益	0	0	0	0	0	0	0	出捐寄附金(配賦比率):
③ 受取寄付金(出捐寄附) (一般寄附)			0	315,750,000	315,750,000	105,250,000	421,000,000	公益事業:75% 法人:25%
経常収益計	0	0	0	321,750,000	321,750,000	105,250,000	427,000,000	
(2) 経常費用								
① 事業費								
研究助成金	115,000,000	0	0	0	115,000,000		115,000,000	
国際共同研究助成金	55,000,000	0	0	0	55,000,000		55,000,000	
奨学金	21,000,000	0	0	0	21,000,000		21,000,000	
派遣・招聘補助金	2,000,000	7,000,000	0	0	9,000,000		9,000,000	
印刷製本費	5,200,000	6,400,000	2,500,000	0	14,100,000		14,100,000	周年事業記念誌など
研究報告会費	1,500,000	12,000,000	3,000,000	0	16,500,000		16,500,000	周年事業開催費
情報調査費	0	1,000,000	100,000	0	1,100,000		1,100,000	
役員報酬	4,200,000	2,400,000	1,000,000	0	7,600,000		7,600,000	
職員給料	5,500,000	15,400,000	3,800,000	0	24,700,000		24,700,000	
福利厚生費	700,000	2,200,000	1,000,000	0	3,900,000		3,900,000	
会議費	100,000	200,000	200,000	0	500,000		500,000	
旅費交通費	1,000,000	15,500,000	5,000,000	0	21,500,000		21,500,000	
通信運搬費	200,000	1,200,000	100,000	0	1,500,000		1,500,000	
謝金	1,000,000	8,500,000	300,000	0	9,800,000		9,800,000	
審査料	3,000,000	400,000	0	0	3,400,000		3,400,000	
委託費	500,000	6,900,000	2,500,000	0	9,900,000		9,900,000	
図書費	0	1,000,000	400,000	0	1,400,000		1,400,000	
消耗品費	0	900,000	600,000	0	1,500,000		1,500,000	
水道光熱費	0	0	0	0	0		0	
賃借料	7,300,000	7,700,000	3,300,000	0	18,300,000		18,300,000	
減価償却費	0	0	0	0	0		0	
雑費	300,000	1,100,000	100,000	0	1,500,000		1,500,000	
事業費計	223,500,000	89,800,000	23,900,000	0	337,200,000		337,200,000	
② 管理費								
役員報酬						9,800,000	9,800,000	
職員給料						18,600,000	18,600,000	
退職給付費用						1,600,000	1,600,000	
福利厚生費						3,200,000	3,200,000	
会議費						1,700,000	1,700,000	
研究報告会費						12,000,000	12,000,000	公益事業・周年行事懇親費
旅費交通費						3,300,000	3,300,000	
通信運搬費						400,000	400,000	
図書費						800,000	800,000	
消耗什器備品費						400,000	400,000	PC等
消耗品費						600,000	600,000	
印刷製本費						1,800,000	1,800,000	封筒等再作成費用
水道光熱費						1,900,000	1,900,000	
賃借料						10,800,000	10,800,000	
委託費						12,900,000	12,900,000	IT保守管理、新ロゴ作成など事業統一費用
支払寄付金						4,000,000	4,000,000	
減価償却費						1,000,000	1,000,000	
雑費						20,000,000	20,000,000	広告費、トロフィー製作費
管理費計	0	0	0	0	0	104,800,000	104,800,000	
経常費用計	223,500,000	89,800,000	23,900,000	0	337,200,000	104,800,000	442,000,000	
当期経常増減額	-223,500,000	-89,800,000	-23,900,000	321,750,000	-15,450,000	450,000	-15,000,000	
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益							0	
(2) 経常外費用							0	
当期経常外増減額							0	
他会計振替前							-15,000,000	
当期一般正味財産増減額							-15,000,000	
他会計振替額							0	
当期一般正味財産増減額							-15,000,000	
一般正味財産期首残高							100,000,000	
一般正味財産期末残高							85,000,000	
II. 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額							0	
指定正味財産期首残高	500,000,000						500,000,000	
指定正味財産期末残高	500,000,000						500,000,000	
III. 正味財産期末残高	500,000,000	0	0		0	0	585,000,000	

■資金調達及び設備投資の見込みについて

(1)資金調達の見込みについて

当期中における借り入れの予定なし

(2)設備投資の見込みについて

当期中における重要な設備投資(除却又は売却を含む)の予定なし